



Re・TAKUCHU PROJECT

今から3年前、当時の生徒会スローガン「新志新風」のもと、新しい詫間中学校に生まれ変わろうと名付けたキャッチフレーズです。そして、マスコットキャラクター“カメ太郎”の誕生、カメ検やタートルノートの実施など、新たな取り組みを始めました。

そして、今回、新たな取り組みを始めるのではなく、今までやってきたことを見直し、新たな気持ちで始めることにしました。その第1弾が「あいさつ」です。でも、これに関しては、すでに生徒会が新たな取り組みを実施しています。実は、8月27日に、詫間町内の小学校の児童会役員と詫間中学校の生徒会役員が集まり、『詫間子どもサミット』を開催しました。右の写真がそのときの様子です。そして、小・中学校で同じ目標を立てて一緒に取り組もうと話し合いをした結果、下のように決まりました。



- ・9月19日～28日を小中合同の「Greetings Week (GW：あいさつ週間)」として、各学校であいさつ運動に取り組む。
- ・期間中、生徒会役員が小学校（主に詫間小）に出向き、小学生と一緒にあいさつ運動をする。

それに先立ち、来週から「あいさつ運動」を始める呼びかけが生徒会からありました。まず、中学校が意識して取り組むことで、小学校へのいいお手本になろうという気持ちの表れです。素晴らしいことです。

4月下旬から5月上旬にかけてのGW（ゴールデンウィーク）は、みんながウキウキする期間です。このGW（Greetings Week；あいさつ週間）も、お互いに笑顔であいさつを交わすことで、みんながウキウキした気持ちで1日のスタートが切れるようになってもらいたいものです。

You can do it if you try

9月の部活動終了時刻は6時です。これからだんだんと日が暮れるのが早くなるので、下校の安全面から考えても、この時間をきちんと守ることが大切であると考え、部活動終了から15分後には校門を出ましようと呼びかけています。これまでも部活動終了時刻は守られていましたが、自転車置き場で友達と話をしなかな下校しないなど、時間に関する意識の低さが見られました。

9月4日、2学期初めての部活があった日も、「6時15分には学校を出ましよう」と放送したものの、生徒の反応が鈍く、97名もの生徒が守れませんでした。最後の生徒が学校を出たのが6時30分でした。しかし、昨日はその数が一気に18名に激減しました。しかも、最後の生徒が出たのは6時17分、わずか2分の遅れでした。You can do it if you try.「やればできる」のです。

【アメリカ体験記④】 ワウパカでは、生徒たちやそのホストファミリーと一緒に、ピクニック、キャンプファイヤー、ピースセレモニーなどの行事が企画されていた。ワウパカ市は美しい湖がたくさんあり、すべてそのほとりに行われたが、私がイメージしていたものとは少し違った。ピクニックは、ボートに乗ったり、泳いだりすることができ、生徒たちは楽しそうに活動していたが、大人たちは椅子に座り、飲んだり食べたりしながらずっと「お話タイム」である。キャンプファイヤーも、日本と同じように火を囲んで座るのだが、何もせずにこれまた「お話タイム」である。ここの人は、とにかくおしゃべり好きで、だれとでも会話を楽しんでいる。でも、夏だというのに湖のほとりは肌寒い。気を利かせてフリースのジャンパーを貸してくださった。さすがに「フリース、プリーズ」とは言わなかった。8月15日に行われたピースセレモニーは、平和に対するメッセージを書き、灯籠に貼り付け、湖に浮かべるという予想通りの作業があったが、これも市全体の行事がと思いきや、私だけのものであった。でも、このセレモニーはすでに終わっていたが、今回私たちだけのためにもう一度してくださったようである。ありがたいことだ。

このように14人が全員集まって行う行事もあったが、それ以外はホームステイごとに任されている。ちなみに私は、ゴルフ、ガン、ボートなどの体験をさせていただいた。久しぶりにのんびりと時間が流れていくのを感じることができた。終わってみれば、6日間のホームステイはあっという間だった。(続く)